アロプリノール錠「NS」をお飲みになる患者さんにお伝えください

服薬指導ガイド

◉医師又は薬剤師のみなさまへ

アロプリノール錠「NS」服用後の重大な副作用として、**中毒性表皮壊死融解症（Toxic Epidermal Necrolysis：TEN）、皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson症候群）、剥脱性皮膚炎等の重篤な皮膚障害、過敏性血管炎、薬剤性過敏症症候群、ショック、アナフィラキシー、再生不良性貧血、汎血球減少、無顆粒球症、血小板減少、劇症肝炎等の重篤な肝機能障害、黄疸、腎不全、腎不全の増悪、間質性腎炎を含む腎障害、間質性肺炎、横紋筋融解症、無菌性髄膜炎**の発現に注意することが必要です。

これらの副作用の初期症状が認められた場合には、アロプリノール錠「NS」の投与を中止し、すぐに医師又は薬剤師へ相談するよう、患者さんへご指導をお願いいたします。

本剤の使用に際し、詳細は最新の電子添文をご参照ください。

2023年8月作成　A

アロプリノール錠「NS」を
お飲みになる患者さんへ

このお薬は、高尿酸血症（血液中の尿酸が多くなる状態）や痛風（血液中の尿酸が多くなって起こる病気）の治療に用いられます。
体内で尿酸が作られるのを抑え、血液中の尿酸の量を低下させるお薬です。

お薬をお飲みになる前に…

- ❍ 以前にお薬を飲んで、発疹などが出たことがある。
- ❍ 肝臓の病気がある、あるいは過去にかかったことがある。
- ❍ 腎臓の病気がある。

などがあれば、**このお薬をお飲みになる前に**医師又は薬剤師にお伝えください。

飲み始めた後は…

このお薬を飲み始めた後、まれではありますが、重篤な副作用があらわれることがあります。
裏面に示すような症状があらわれたら、**服用を中止**し、**すぐに医師又は薬剤師にご相談**ください。

次のような症状に気づいたときには、**服用を中止**し、**すぐに医師又は薬剤師にご相談**ください。

発熱、発疹、のどの痛み、全身がだるい、食欲がない

また、この他にも、何か変だなと感じた場合には、すぐに医師又は薬剤師にご相談ください。

副作用の初期症状

アロプリノール錠「NS」を飲み始めた後、まれに見られる重篤な副作用の初期症状は以下の通りです。

■ 皮膚の障害

発熱、発疹、のどの痛み、関節の痛みなどの感冒様症状、皮膚が斑状に赤くなる、眼が充血する、口の中があれる などがあらわれた場合。

■ 血液の障害

発熱あるいはさむけがする、のどが痛い、全身がだるい、顔やまぶたのうらが白っぽい、出血しやすくなる（歯ぐきの出血、鼻血など）、青あざができる（押しても色が消えない）、気分が悪くなりくらっとする（貧血の症状）などがあらわれた場合。

■ 肝臓の障害

食欲がない、全身がひどくだるい、皮膚や白目が黄色くなる、尿の色が濃く（茶色く）なった、体がかゆくなる、発疹が出た などがあらわれた場合。

日新製薬株式会社

2023年8月作成　A